

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-25 し尿処理事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				579	し尿処理事業	
主管課	深沢クリーンセンター		関連課	資源循環課・環境施設課			
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	環境衛生保持のため、し尿及び浄化槽汚泥等を受入れ、適正に処理する。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	14,947千円	15,948千円				
	(国・県)						
	(負担金等)	2,247千円	5,362千円				
	(一般財源)	12,700千円	10,586千円				
	人員配置数	4.0人	4.0人				
	人件費	34,693千円	35,149千円				
	協働の パートナー	委託・許可業者	委託・許可業者				
事務事業 運営経費	総事業費	49,640千円	51,097千円				
	市民1人当 りの経費	281円	290円				
	対象者1人 当りの経費	—	—				
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・耐用年数を超えている設備があるため、順次更新し、施設の機能を確保する。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・処理設備に対し、適正な維持修繕を実施し、安定した下水道放流ができた。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・なし					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・機能を維持するため、修繕計画を立て、適切な維持管理に努める。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	し尿の下水道放流を行う重要な施設であることから、現状の施設機能を維持していく。		評価結果	改善の必要性	廃棄物処理施設整備の将来計画を見極めながら、安定したし尿の下水道放流を継続するための適正な維持管理に努めていく。	
B	無			B	無		
課長名	入江 良雄			部名・部長名	環境部 相澤 千香子		